

会議記録

会議名	令和元年度 第1回 杉並区文化・芸術振興審議会
日時	令和元年6月27日(木) 午後6時05分～午後7時06分
場所	杉並区役所 東棟6階教育委員会室
出席者	〔委員〕 曾田修司(会長)、菊地一浩、後藤朋俊、高和弘、佐藤信、 谷原博子、山村美紀 〔区〕 地域活性化担当部長、文化・交流課長 〔事務局〕 文化・交流課
欠席者	板倉徳枝、中村陽一、花柳琢兵衛、米屋尚子
配布資料	資料1 杉並区文化・芸術振興審議会委員名簿 資料2 第1回杉並区文化・芸術振興審議会 席次表 資料3 杉並区文化・芸術振興審議会条例、部会設置に関する取り決め 資料4 杉並ゆかりの文化人アーカイブ映像集リーフレット 資料5 東京2020大会に向けた文化プログラムの取組と経過 資料6 イタリアビーチバレーボール事前キャンプに向けての主な取組(案)
会議次第	〔議事〕 1 開会 2 審議会委員(新規)の紹介 3 報告事項 (1) アーカイブ映像事業(平成25年度～)について (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの取組と経過について (3) イタリアビーチバレーボール事前キャンプに向けての主な取組(案) (4) その他
主な発言	別紙のとおり

発言者	発言内容
	－ 開会 － （午後6時05分）
	1 開会
文化・交流課長	<p>それでは定刻になりましたので、令和元年度第1回文化・芸術振興審議会を開催いたします。本日お忙しい中お集まりをいただきましてまことにありがとうございます。</p> <p>審議会に先立ちまして区側の出席者の紹介をいたします。</p> <p>この4月に異動となりました地域活性化担当部長の岡本です。</p>
地域活性化推進担当部長	<p>岡本です。よろしくお願ひします。きょうは、お忙しい中お時間いただきましてまことにありがとうございます。</p> <p>この場をかりまして皆様に一言お礼を言わせていただきたいと思います。日ごろから杉並の文化・芸術振興にご尽力いただきましてまことにありがとうございます。この審議会でもいただきましたご意見は区民の文化・芸術の支援とか、それからまちの魅力を高める取組に生かしていきたいと思っております。</p> <p>具体的には昨年、約2年に渡りご議論いただいた、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けた文化プログラムの取組の中でも色々お話しいただきましたが、文化・芸術活動に対する支援ですとか文化・芸術に親しむ機会の充実など、こうしたことを一人でも多くの区民の方に体験いただけてオリンピックに感動していただきたいと思います。</p> <p>来年7月から東京2020オリンピック・パラリンピック大会が開催されますので、この杉並の文化プログラムに関しても今後ご意見をいろいろ頂戴したいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
文化・交流課長	<p>私は引き続き文化・交流課長で、事務局を務めさせていただきます幸内です。よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは本日、中村委員、板倉委員、米屋委員から欠席の連絡をいただいております。</p> <p>また坂根シルック委員から都合により審議会の委員を退任したいという申し出がありましたので、後任に現在ジェイコム東京で顧問を務められております高さんに新たに委員にご就任いただくことになりましたので、高委員のご紹介をさせていただきますと思います。ご挨拶をお願ひいたします。</p>
委員	<p>高でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。私は、現在ジェイコム東京のほうで地域のプロデュース関連の仕事をしておりまして、日本フィル、それから公会堂、それから女子美の皆様あるいは地域のいろいろな教育文化の活動等々で大変お世話になっております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。</p>
文化・交流課長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからの進行は会長をお願いをしたいと思います。よろし</p>

	くお願いいたします。
	2 審議会委員（新規）の紹介
会長	<p>曾田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>今年度の第1回の文化・芸術振興審議会ということでございまして、新しい委員の方もおいででございますので、昨年から引き続きご参加いただいている皆様にも自己紹介をしていただきたいということでございますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>まず私から簡単に自己紹介させていただきます。</p> <p>跡見学園女子大学というところでマネジメント学部というのがございまして、アーツマネジメントを専門に研究をしております曾田と申します。よろしくどうぞお願いいたします。</p> <p>それでは順番に、谷原さんからお願いできますでしょうか。</p>
委員	<p>谷原博子と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>現在、杉並区内では学校・地域コーディネーターをしております。学校と地域の皆さんとのつなぎ役という形でいろいろな活動のお手伝いをさせていただいています。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>佐藤信です。杉並区の芸術会館、座・高円寺の芸術監督をやらせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>では、山村委員、お願いします。</p>
委員	<p>山村美紀と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>私は女子美術大学のアートデザイン表現学科で准教授をしております。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>杉並公会堂の館長をしております菊地と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>おかげさまでこの6月でちょうど2006年のリニューアルオープン以来13年を迎えることができました。改めて皆様に御礼申し上げたいと思います。</p>
委員	<p>日本フィルハーモニー交響楽団の常務理事、こちらの資料では「兼事務局長」となっていますが、現在、7月からなので、常務理事のみになっております後藤と申します。</p> <p>本当に日本フィルも杉並の皆さんに支えていただきまして音楽活動ができるのを本当に幸せに思っております。おかげさまで春には13年ぶりのヨーロッパ公演も大成功に終わりました。高い評価を得てこられたのも公会堂を本拠地として活動して、杉並の皆さんに支えていただいている結果だと思っております。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは一通りごあいさつをいただきましてありがとうございました。坂根委員が退任されたということで助成金審査部会の委員を坂根委員が務められていたということで、審議会条例によりますと、会長が部会委員を指名するという事になっているということですので、坂根委員にかわりまして高委員に部会の委員をお願いしたいと思っておりますが、皆様いかがで</p>

	しょうか。
	(「異議なし」の声あり)
会長	ありがとうございます。 では、ご了承いただいたということで高委員、よろしくお願いたします。 それではお手元の配布資料の確認を事務局からお願いいたします。
文化・交流課長	それでは本日配布しております資料ですけれども、まず次第に資料の一覧がありますので、これと照らし合わせていただければと思います。もし資料に不足がありましたら恐縮ですけれども、事務局にお伝えいただければと思います。よろしく確認をお願いしたいと思います。
	3 報告事項 (1) アーカイブ映像事業（平成25年度～）について
会長	では、次第に従いまして報告事項の(1)アーカイブ映像事業について、事務局から説明をお願いいたします。
文化・交流課長	それではアーカイブ事業についてご説明をいたします。 区では杉並にゆかりのある文化・芸術家に焦点を当てまして、その人となり、文化・芸術活動の足跡、作品にかける思い等を映像にまとめまして、区の貴重な文化財として記録・保存するとともに、区内外に区の文化的な魅力として発信をしております。 平成25年度から始まりましたこの事業は、昨年の直木賞小説家、角田光代さんの映像編集が終わり、当初の計画どおり15作品全て完成となりました。 現在DVDを全区立の小中学校、それから図書館に配布しているほか、ユーチューブでの視聴が可能となっております。再生回数につきましては、現在4万回を超えておりまして、本日は最新作品をご覧いただきまして、今後のさらなる活用方法などについて後ほどご意見をいただければと思っておりますので、よろしくお願いたしたいと思います。これから流したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。
	(動画上映)
会長	どうもありがとうございました。15分ということでしたけれども、内容が濃いですね。
文化・交流課長	こちらは短縮版で15分でしたが、その他にフルバージョン45分もあります。
会長	ここまでで予定どおり15作品ということだそうですねけれども、これについて、例えば活用方法ですとか何かご意見、アイデアがございましたらお願いたしたいということなのですねけれども。 これは再生が4万回を超えているというのはコンスタントに再生されているのか、どこかで上がってきたのか、その辺はどうなのですかね。
文化・交流課長	ユーチューブの、先ほど言いましたように15作品あるのですけれど

	<p>も、作品によって回数にかなり増減がありまして、過去一番多いのはクラシックギター奏者の荘村清志さんの9, 542回、続いて多いのは落語家の古今亭志ん輔さんの7, 900回という感じで、彫刻家や染織家の方は少ないという状況になっています。</p>
会長	<p>いかがでしょうか。これは小学校、中学校で配布しているというのは全部セットであるということですか。</p>
文化・交流課長	<p>この全て15作品をでき上がった段階で各小学校、中学校それから図書館に配布をしまして、過去、杉七小、杉四小学校では、ねじめさんをお招きし、このビデオを見て、その後ねじめさんが授業をやるとか、そういうふうに活用していただいている例もありますし、あと女子美の佐野ぬいさんは母校でこれを見ながら、講演したということがありました。</p> <p>今後もPRに努めていきたいと思いますが、何かこんなふうにしたらもっと面白いのではないのというのがあればアイデアを教えてください。</p>
会長	<p>区役所内で放送したりはしているのですか。</p>
文化・交流課長	<p>区役所の1階でも流しています。</p>
会長	<p>皆様いかがでしょうか。</p>
文化・交流課長	<p>区のホームページ上にも上がっているので誰もが視聴可能です。</p>
委員	<p>今、インターネットの検索を試みましたが、うまく引っかかりにくいですね。もうちょっと単純な「杉並文化人」とか何か簡単な形で引っかかるようなハッシュタグがついてると来やすくなるかもしれないですね。</p>
委員	<p>私も小学校を担当してまして、学校長に紹介していますが、学校の夏休みのまいまいハウス・プロジェクトみたいなときに保護者が集まって何かしら空き時間に流しておく、すごく関心を持っていただけますね。夜、料理をつくる場面にずっと流していたりすると意外と関心は高いのですが、キャリア教育にも使えますし、また地域の魅力発見にも大いに活用はできるのですが、どうやってそこをつなげていくかというのが、課題かなと思っています。</p>
	<p>(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの取組と経過について</p>
会長	<p>では、次の話題に参りたいと思います。</p> <p>(2) ですが、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けた文化プログラムの取組と経過についてということで、これについて事務局から説明をお願いいたします。</p>
文化・交流課長	<p>それではご説明いたします。</p> <p>平成29年8月にこの審議会で策定をいただきまして、昨年12月に改定をいたしました東京2020大会に向けた文化プログラムの取組と経過なのですが、まず資料5を見ていただければと思います。</p> <p>初めに文化プログラムの概要ですけれども、大会組織委員会で東京20</p>

20オリンピックパラリンピック大会に向けて指針となる「アクション&レガシー」を策定いたしまして、この指針を受け区では、この文化プログラムを、皆様のご意見を聞いて策定し、レガシーを「未来へ繋がる感動や体験」と定義をいたしまして、既存事業などへの支援を強化・発展させながら区民参加を促していくということといたしました。

目標としましては、記載の3つの目標を定めまして、その目標の達成に向けた具体的な取組として文化・芸術活動助成事業の活用や区民との協働による文化発信など3つを行っていくことといたしました。

次に、これまでの事業の取組経過についてですけれども、次のページをご覧くださいいただければと思います。

まず(1)「文化・芸術活動助成事業の活用」ですけれども、企画提案事業に東京オリンピック・パラリンピックを見据えた新たなテーマといたしまして「レガシーの創出に向けた新たな文化・芸術の創造～杉並から国内外へ文化発信～」を追加し、対象事業といたしました。

主な事業としましては、記載の阿佐ヶ谷神明宮で開催いたしました阿佐ヶ谷薪能を、昨年に引き続き支援いたしております。

次に(2)の協働事業における文化発信に向けた取組ですけれども、昨年7月から8月にかけてオリ・パラ2020の大会公認プログラムとして「和文化」をテーマに野外アートイベントを行いました。このイベントにつきましては、杉並第六小学校の児童が制作した作品を阿佐ヶ谷中学校の校庭で展示するなど、教育部局とも連携をして実施しております。今年は8月に杉並ゆかりの文化人であります棟方志功の版画体験なども加えて実施していく予定となっております。

次に(3)の「文化に関するボランティアの創出」ですけれども、今年で3回目を迎える「すぎなみ地域大学」でのアートサポーター講座を19名が受講いたしました。佐藤委員によります地域イベントの役割と楽しみ方の講演のほか、日本フィルの公開リハーサルの視察なども行いました。受講後は文化・芸術活動助成事業のモニタリングや区内で行われるアートイベントのサポーターとして活躍していただく予定でございます。

続いて(4)「交流自治体『南相馬市』との連携」ですけれども、昨年11月に南相馬市で行われました「南相馬市子ども文化芸術交流事業」につきましては、女子美術大学の教授や学生が講師をつとめ、区内の小学生が参加して段ボールアートを制作するなど、文化・芸術を通じた交流を深めてまいりました。また制作した作品は区役所で相馬野馬追応援企画である武者絵展に合わせて展示いたしました。今年度も8月に同事業について区立の中学生が参加し、南相馬市の復興をアートを通じてPRをする予定でございます。

(5)「杉並の魅力を国内外に発信する取組」ですけれども、国際交流、異文化理解を進める「東京高円寺阿波おどり台湾公演」の実施や、杉並にゆかりのある文化人・芸術家の活動軌跡を後世に残す、先ほどの「アーカ

	<p>イブ映像」を制作しまして、ユーチューブなどで発信し、区の文化発信に努めております。</p> <p>最後に（６）「教育部局等との連携」でございますが、区に転入いたしました外国人児童が日本語を学び、その成果を発表する国際交流の集いや区立小中学生とネパール人学生総勢５０名が日本フィルの指導のもと国境を超えて音楽をつくるワークショップを実施いたしまして、他文化交流を図りました。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。これは最初には平成２９年に作って、それを昨年１２月に改定したということで、いろいろな取組①から⑥までということで、実践が目標とつながっている形で行われてきたというご説明だったかと思えますけれども、何か皆様からお気づきの点、ご意見その他ございますでしょうか。</p>
委員	<p>１番目にある神明宮でやっている阿佐ヶ谷の薪能ですか、たまたま阿佐谷によく行くことがありまして、ずっと見てきたのですが、特に毎年進化しています。前半は、数カ月間か能講座等のレクチャーを受けた子どもたちがその発表をして、後半は、皆さんとても立派な方々が狂言と能をやるという形です。神明宮のすごく荘厳な中での能舞台、かがり火があるということで、すごくマッチしてまして、今年は英語のパンフをちゃんとつくってPRされて、今年は結構外国人の方も多かったです。</p> <p>それからネパールの子どもたちにもPRしたり、そういった形で地域と外国の方が文化を通して広がっているといいますか、これは一つのレガシーといいますか、今後この期間が終わっても次につながっていくものがつくられているなど実感したところです。</p>
会長	<p>ありがとうございました。自らご参加されてという体験的な感想、ご意見をいただきました。他にはございますでしょうか。</p>
委員	<p>同じく体験で阿波おどりの台湾交流も３回目ですけれども、今年は本当に大規模で、台南の方とか本当に小さな村にも行って、そこも本当にものすごくたくさんの方たちに来ていただいて、台湾側でもすごく動いてくださる方、支えてくださる方がいるということで、ある意味で地道な交流が積み上がってきていると思います。</p> <p>ただ、今年はあまりにも大規模だったので今後どうするかという問題が残っているのですが、本当に、舞台関係者としては、とても羨ましいのですよね。いきなり行って本当に何十万というお客さんが待ちわびているという状況をつくり出すのはなかなか劇場に入ると難しいのですけれども。</p> <p>その中の一番の大きいところは、阿波おどりの質の高さ、パフォーマンスとしての質の高さですね。見ててすごく納得がいくというか、見てた方が単なるお祭りで「わー、楽しかった」というのではなくて、質のあるものを見たなという、これも関係者の方たちがすごく努力なさっていることだと思うので、これをまたどういうふうに発信していくかということ、今</p>

	<p>後も区が積極的に取り組まれるといいレガシーというか、一つ財産を持っているらっしゃるなどということを改めて痛感いたしました。</p>
会長	<p>それから能もそうでしたけれども、日本フィルの活動があちこちでされているようですが、後藤委員いかがでしょうか。</p>
委員	<p>ネパールも含めて外国人の方とこういうワークショップというのは、我々あまりやる機会がなかった中で、子どもたちを軸に事業を始めました。事業の目的は、子ども同士の言葉が通じなくてもコミュニケーションをとることです。今はコミュニケーションの取り方というのが非常に学校でも社会でも課題になっている中で、この事業を通じて国境も超えて、お互いを理解し合う手助けができたと思っています。今後も、ワークショップを通じて、相手のことを理解する取組を積極的に展開していきたいと思っています。</p> <p>南相馬市と我々の「被災地へ音楽を」については、今回ヨーロッパの演奏旅行は演奏が主で10カ所10公演あったのですけれども、それぞれのロビーで日本フィルが行ってきた被災地での活動のパネルを展示しました。現地の方に分かるように英文に訳して日本の現状と被災地でのこと、それから、オリンピックに向けて日本にいらしたときに被災地にもぜひというメッセージをしたらすごい関心があって、ぜひインバウンド、ぜひ被災地を訪れるのは南相馬市でどうですかというのも一つかなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>4番に女子美の活動も出てきますけれども、地域の文化資源が非常に生かされているということで、感心しますね、改めてこういうふうにあちこちで生きているのだというところ。</p> <p>それで、この委員会で見せていただいて関心しているだけではもったいないので、例えばこの取組をホームページに行けばどこかでパワーポイントみたいな形で見られるとか、あるいは動画に、簡単なものになっているとすごくいいのではないのでしょうか。</p> <p>なるべく一般の方にこういう活動をしていますという紹介がされるといいと思いますが。</p> <p>東京2020大会についてはあと1年ちょっとですので、取組を加速していただければと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。</p>
	<p>(3)イタリアビーチバレーボール事前キャンプに向けての主な取組(案)</p>
会長	<p>では、引き続き(3)の「イタリアビーチバレー事前キャンプに向けての主な取組」についてご説明をお願いします。</p>
文化・交流課長	<p>来年7月に杉並区にイタリアビーチバレーチームが事前キャンプをするということが決定をいたしまして、その概要につきまして事務局から、概要説明をさせていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>永福体育館におけるイタリアの事前キャンプについて、概要をお話しさせていただきます。</p>



	<p>杉並区では国際規格を満たしたビーチコートを整備しまして、オリンピックの事前キャンプの誘致活動を行ってきたところ、このたびイタリアのオリンピック委員会からコート利用の申し出をいただきまして、今年5月に協定を結び、2020年7月14日から22日にかけて、9日間このビーチコートでイタリアのビーチバレーボールチームが事前キャンプを行うことになりました。</p> <p>この協定の中で区は、永福体育館をビーチコートも含めまして占有利用を許可する代わりに、イタリアのビーチバレーボールチームに、例えば選手にウェルカムパーティにご出席いただく、公開練習をしていただく、また区の交流事業に参加していただくなど、東京2020大会以降もこの永福の地域と何か継続した交流をしていただきたいということを協定書に盛り込みまして要望しているところでございます。</p> <p>ただ、この具体的な中身につきましては、まだ決まっていないところですので、ぜひこんなことをしたらいいのではないかなど、ご意見をいただければと思います。</p> <p>私からは以上になります。</p>
文化・交流課長	<p>今、事務局から説明をさせていただきましたけれども、この事前キャンプをきっかけとして杉並区の文化プログラムにイタリアというキーワードを取り込んで事前キャンプの周知、それからイタリア文化の啓発、それから選手とのおもてなしなどを進めていこうと考えておりまして、今、具体的に検討している事項としては、文化プログラムの取組②の「区民との協働による文化発信に向けた取組」として永福体育館、ビーチコート、それから、永福町駅などに区民発案のアートの横断幕を設置するということを今、考えております。</p> <p>それから取組⑤としては「杉並の魅力を国内外に発信する取組」として、イタリアの美術や音楽、演劇などに区民が触れて学ぶような、そういった事業ができないだろうかということ。</p> <p>それから取組⑥として教育委員会と連携した取組として選手が来日をしたときに日本フィルとの区内中学校吹奏楽部なんかと一緒に演奏してお出迎えをする等の案を考えているところでございまして、今日委員の皆様突然の話なのですけれども、事前キャンプに向けた文化的な取組、そんな方向性のご意見等をいただければと思います。よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
会長	<p>事前キャンプは7月ですけれども、いつからということには特に決めないで、まだ選手団が来る前からどんどん始めていけばいいということですか。</p>
文化・交流課長	<p>当然キャンプをしているときにもやりますし、できれば来る前にも何か紹介をしていく。今、すぎなみフェスタなんかでもイタリア文化の紹介とか交流協会で、異文化理解の事業をやっていますので、そこでイタリアの文化の紹介とか、いろいろな今やっている事業の中にイタリアを紹介して</p>

	<p>いこうというのも考えていますし、また座・高円寺で小学校4年生向けの演劇鑑賞教室の作品にイタリアの劇作家の方にいろいろとかかわっていただいていますので、そういった紹介とか、そういう切り口をうまく使って、イタリアの文化の紹介をしながら、実際の来年のオリ・パラのビーチバレーの練習なんかにも盛り上げていければなというようなことをちょっと考えたいなというふうに思っています。</p>
会長	<p>資料6の真ん中右あたりにイタリア関連情報というのがあって、今までにもイタリアと関係があったということのご紹介がされているので、たまたまではなくて探したら関係があったということでご認識いただけるといいと思いますけれども。</p>
委員	<p>イタリア文化会館とはコンタクトをおとりになっていますか。何かプログラムを持っていませんでしたか、向こう側が。</p>
事務局	<p>イタリア文化会館では年100回程度、演劇であったり音楽というのを企画しているようで、そういった企画はありますよという話はあったのですが、特段それを杉並に持ってきたらいいのではないかという、話にはなっておりません。ただ、杉並区在住のイタリア人講師がいるよという、そういう紹介はいただいたりはしました。</p>
委員	<p>具体的なプログラムの内容がわかると多分少しコンタクトとれるのではないかと思いますので、もし情報があれば、またお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>この資料6の取組②⑤⑥ということで案が出ていますが、これは実際に進めるということなのですか。</p>
文化・交流課長	<p>これは固めたわけではないのですけれども、今こういったことをやっていけないだろうかという案として区で考えているところです。</p> <p>先ほどの文化プログラムの取組の状況の説明をさせていただいたときに会長から杉並の持っている資源をうまく活用してということですので、このイタリアも何か新たにお金をかけるというよりも杉並が持っているいろいろな文化素材があるので、日本フィルさんもそうですし、女子美さんもそうですし、そういうところとうまく絡めながら何か新しいものを考えていければと思いますし、またそういうのがあれば、またご相談に行きたいなと思っています。</p>
委員	<p>たまたま永福町、私どものジェイコムも永福町の駅のそばなので。永福町は実はグルメの街でピザの店は、イタリア料理の店は首都圏で3つか5つの指に入ると日本フィルの方がそうおっしゃっていたのですけれども、食べなれた方が、本当においしいと。昼間はいつもいっぱいですね。</p> <p>永福町の商店街は、ほとんど静かな商店街ですけれども、ピザとか何かでジェイコムも何か流せばいいし、いろいろそういったことで地域が盛り上がりながら、先ほど委員がおっしゃっていたようなカンツォーネですとか日本フィルとか女子美とかいろいろなところの、それから学校も、オリンピックに向けて国別で勉強しているところがあるので、イタリアを勉強している学校とか、そういったのを結びつけると結構盛り上がりは出てく</p>

	るのかなという感じはいたしました。
会長	後から配られた資料で聖火リレーとかセレモニーの資料があるようですね。すけれども、これはよろしいですか。まだあまり具体的に決まっていないということ。
事務局	これは、このイタリア関連の議論の後にもう一度お時間いただいて詰めさせていただければ。
委員	概要をちょっと教えていただきたいのですが、ざっくりですけれども、そもそもこのイタリアのビーチバレーチームが何人ぐらいこの期間中来るような想定なのですか。
事務局	<p>ビーチバレーの競技の中で、全部で24チームがオリンピックに出れるのですけれども、各国2チームまでということになっていますので、どんなにランクが高くても各国2チームなので最大で8人しか来れないですね。</p> <p>現在、大会に出ましてポイント稼いでポイントの上位の方ですとか世界大会で優勝したりするとオリンピックの出場権が得られるのですけれども、まだどのチームもオリンピックが確定しているところは現状はない状態です。</p> <p>なので、イタリアが来ると決まっているのですけれども、何チーム来るとか、本当に来られるかというのは、これからになります。</p> <p>2016年のリオではイタリアのペアは男子が銀メダルになっていますので、男子の1チームは来てくれるのではないかと。</p>
委員	選手、スタッフ含めると。
事務局	含めて18名かと思われます。
委員	わかりました。
委員	宿泊は区内ですか。
事務局	宿泊は区内です。区内のホテルです。
会長	いつごろから区民に対するPRというのはされるのですか。
事務局	一応イタリアが来ますよということで協定を結びましたので、区報等、あとは情報紙の「コミュかる」なんかも使いまして、情報の発信はしているところなのですけれども、まだまだご存じでない方がいらっしゃるかなと。あと直近ですと7月21日の「コミュかる」を使いまして、この協定に実際に協定を結びに来ていただきましたイタリアのオリンピック委員会の総括責任者の方を「コミュかる」でもご紹介していく予定です。
会長	ありがとうございます。今までイタリア文化と杉並というのはつながりが多くなかったかもしれませんが、今後よい機会だということで取り組んでいただければと思います。
委員	何か目印のマークでもあるといいかもしれません。イタリア国旗と文化

	プログラムというようなのがあると。
文化・交流課長	例えば子どもたちに募集する。
委員	それで何でもくっついているみたいな形が、結構小さい催しでも意味が出てくるので。
	(4) その他
会長	では、(3) は以上ご意見をいただいたということで、(4) その他についてご説明をお願いいたします。
文化・交流課長	<p>次回、審議会で来年の聖火リレーのイベントについてご議論いただきたいと思います。</p> <p>というのは、聖火リレーが各自治体回るのですけれども、杉並で行うイベントの内容について、次回の審議会の中で、こんなことをやったらどうだろうかというご意見いただければなと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
会長	主催は組織委員会ということなのですか。
事務局	<p>先ほどお配りさせていただきました資料の後半の部分、補足でご説明させていただきます。</p> <p>今、文化・交流課長のほうからお話をさせていただきましたけれども、聖火リレーに関するイベントは、ほとんどプログラム化されていますが、区で何かやっているとってはくださっているのですが、20分程度になりますが、例えば、聖火を先導するために、阿波おどりを踊ったり、あとは子どもたちが先導したりとか、そういうイベントを、ぜひとも何か子どもたちに夢を与えるようなプログラムが提供できればと現状考えております。</p>
文化・交流課長	<p>先ほど言いましたように次回11月ごろ審議会を予定しておりますので、そのイベントでこんなことをやったらおもしろいのではないかということをもたご意見をいただければと思ひます。日程につきましては、別途またメールで調整をさせていただきますと思ひます。</p> <p>次に部会についてですけれども、昨年見直しをいたしました文化・芸術活動助成の第2回の審査を引き続きさせていただきますので、9月上旬に書類をお配りしますので、そこで審査をしていただきまして、9月中旬にお集まりをいただき、取りまとめるという予定で考えておりますので、こちらについても別途メールで部会員の皆様には調整をさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>私からは以上です。</p>
会長	<p>今後のスケジュールが審議会での次回の聖火リレーに関するイベントの議論ということと、それから部会での文化・芸術活動助成金審査の予定ということでご説明がありましたけれども、何かご質問ご意見等ございませうでしょうか。</p> <p>11月の審議会で聖火リレーのことを話し合うということでしたけれども、何か区内の文化団体、芸術団体にアイデア募集をしたりとか、そう</p>

	いうことはしなくていいのですかね。
文化・交流課長	何か良いアイデアが出ればよいですが、ご意見として賜ります。
会長	基本的には11月にここでいろいろご意見をいただきます。 では、以上で終わりたいと思いますけれども、よろしいですか。 では、以上で第1回の文化・芸術振興審議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。
	－ 閉会 － (午後7時06分)

令和元年6月27日  
東棟6階教育委員会室  
午後6時～

## 令和元年度 第1回 杉並区文化・芸術振興審議会 次第

- 1 開会
- 2 審議会委員（新規）の紹介
- 3 報告事項
  - (1) アーカイブ映像事業（平成25年度～）について
  - (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの取組と経過について
  - (3) イタリアビーチバレーボール事前キャンプに向けての主な取組(案)
  - (4) その他

### 【配布資料】

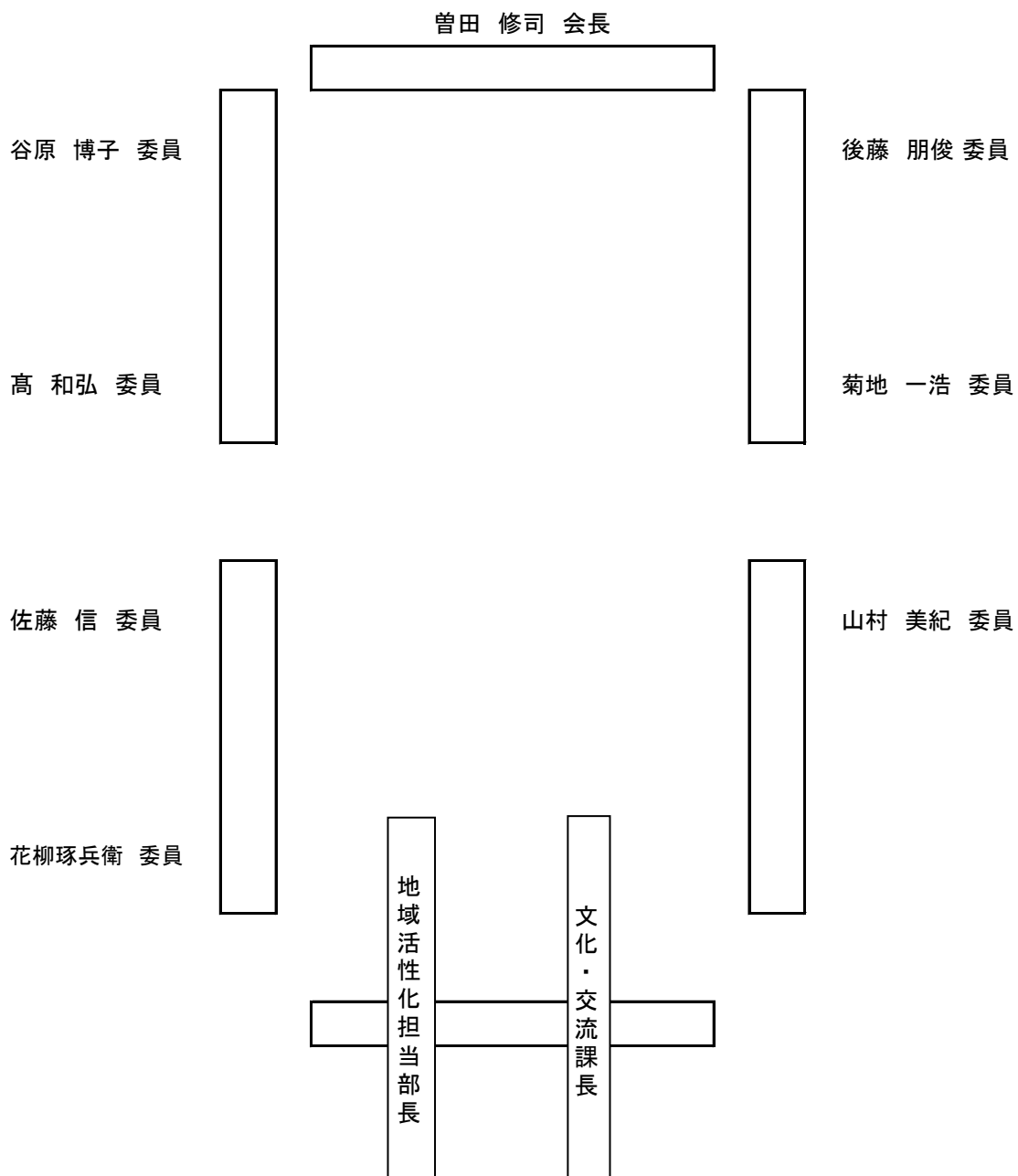
- 資料1： 杉並区文化・芸術振興審議会委員名簿
- 資料2： 第1回杉並区文化・芸術振興審議会 席次表
- 資料3： 杉並区文化・芸術振興審議会条例、部会設置に関する取り決め
- 資料4： 杉並ゆかりの文化人アーカイブ映像集リーフレット
- 資料5： 東京2020大会に向けた文化プログラムの取組と経過
- 資料6： イタリアビーチバレーボール事前キャンプに向けての主な取組(案)

## 杉並区文化・芸術振興審議会委員名簿

(敬称略)

No.	氏名	所属等	備考
1	いたくら のりえ 板倉 徳枝	杉並ユネスコ協会副会長	
2	きくち かずひろ 菊地 一浩	杉並公会堂館長	
3	ごとう ともとし 後藤 朋俊	日本フィルハーモニー交響楽団 常務理事兼事務局長	
4	たかし かずひろ 高 和弘	J:COM東京 顧問	令和元年 6月1日～
5	さとう まこと 佐藤 信	演出家、杉並芸術会館(座・高円寺)芸術監督	
6	そだ しゅうじ 曾田 修司	跡見学園女子大学 マネジメント学部 マネジメント学科 教授	
7	たにはら ひろこ 谷原 博子	学校・地域コーディネーター	
8	なかむら よういち 中村 陽一	立教大学 21世紀社会デザイン研究科 教授	
9	はなやぎ たくべえ 花柳 琢兵衛	杉並区文化団体連合会 会長	
10	やまむら みき 山村 美紀	女子美術大学 芸術学部 アートデザイン表現学科 准教授	
11	よねや なおこ 米屋 尚子	日本芸能実演家団体協議会 実演芸術振興部長	

# 第1回杉並区文化・芸術振興審議会 席次表





## 杉並区文化・芸術振興審議会条例

平成24年3月22日  
条例第15号

(設置)

第1条 文化・芸術の振興に関して必要な事項を調査審議するため、区長の附属機関として、杉並区文化・芸術振興審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 審議会は、次に掲げる事項について、区長の諮問に応じ、答申する。

- (1) 文化・芸術の振興に関する重要な事項
- (2) 文化・芸術の振興に係る活動に対する助成に関する事項

2 審議会は、前項各号に規定する事項に関し、区長に意見を述べることができる。

(組織)

第3条 審議会は、次に掲げる者につき、区長が委嘱する委員12人以内をもって組織する。

- (1) 文化・芸術活動関係者 6人以内
- (2) 学識経験者 2人以内
- (3) その他区長が適当と認める者 4人以内

2 委員の任期は、2年とし、再任されることを妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。
- 3 審議会に副会長1人を置き、会長が指名する委員をもってこれに充てる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会は、会長が招集する。

- 2 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 審議会の会議は、公開とする。ただし、審議会の議決があったときは、非公開とすることができる。

(部会)

第6条 審議会に、特定の事項について調査審議するため、部会を置くことができる。

- 2 部会の委員及び部会長は、第3条第1項に規定する委員のうちから、会長が指名する。
- 3 部会の会議は、公開とする。ただし、部会の議決があったときは、非公開とすることができる。
- 4 前3項に定めるもののほか、部会について必要な事項は、審議会が定める。

(委員以外の者の出席等)

第7条 審議会及び部会は、調査審議のため必要があると認めるときは、委員以外の者を出席させて意見を聴き、又は委員以外の者から必要な資料の提出を求めることができる。

(委任)

第8条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 杉並区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和50年杉並区条例第31号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

平成 31 年 2 月 28 日

## 平成 31 年度 杉並区文化・芸術振興審議会の部会設置に関する取り決め

杉並区文化・芸術振興審議会条例第 6 条に基づき、部会を設置する。

## 1 名称

杉並区文化・芸術活動助成金審査部会

## 2 目的・役割

杉並区文化芸術活動助成金交付要綱に基づき、杉並区文化芸術活動助成金（以下、「助成金」という。）の審査及び決定すること。ただし、必要に応じて、審議会に部会の審査結果を報告し、審議会にて決定することができる。

なお、応募者に対する審査結果は、いずれの場合も審議会名で通知する。

## 3 助成金の内容（平成 31 年度）

- (1) 年間予算 1,000 万
- (2) 募集回数 2 回（企画提案：1 回）
- (3) 種類 3 つ

	事業名称	対 象
1	文化芸術活動	区内在住の個人または区内に活動拠点を持つ団体が、区内で実施する杉並の魅力を高める質の高い文化芸術活動事業や、区民が参加・体験し、地域に広く波及していく文化芸術活動事業
2	企画提案	区が提示するテーマに対しての応募事業 ① こどもたちの想像力と思考力を育む事業 ② レガシーの創出に向けた新たな文化芸術の創造
3	大会参加支援	国内で開催された全国規模の大会、または海外での有名コンクール等に出場し若手アーティスト（おおむね 30 歳以下）

## 4 部会長及び部委員

審議会会長が指名する。

## 5 その他

部会長及び部委員が当該助成金審査対象事業の関係者であると部会で判断した場合、当該委員は審査に加わらず、当該委員の得点は他委員の得点の平均とする。

# 「杉並ゆかりの文化人」

アーカイブ映像集 Vol.15が出来上がりました

区は、杉並にゆかりのある文化人・芸術家の活動の軌跡を、区の貴重な文化財産として記録・保存し、後世に伝えるための映像作品を制作しています。

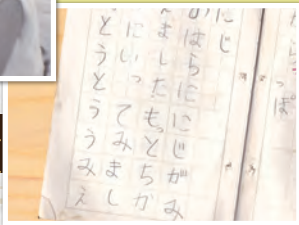


子どものときに読んで本は  
おもしろい。あんなの友だちで  
いてくれます。たくさん友だちを  
作ってください。  
角田光代

## Vol.15 小説家 角田 光代さん

### 「心ゆさぶる物語を」

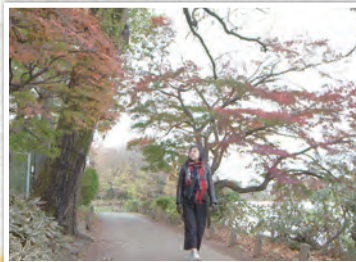
いま最も人気の高い小説家のひとり。  
デビュー以来杉並のまちを拠点に活動。  
代表作「八日目の蝉」をはじめ、日常に潜む人間の複雑な  
感情を描きだした作品は、直木賞ほか数々の文学  
賞に輝き、その多くが映像化されています。



©Sai Santo



日々のリフレッシュは  
かけがえのない時間。



小説の舞台やいつもの散歩道など、  
杉並のまちを訪ね歩きます。



視聴方法

① YouTube(15分版)

杉並区公式ホームページから視聴可能  
杉並ゆかりの文化人 検索



② DVD(15分版・ロングインタビュー・杉並マップ)

区立図書館、文化・交流課(区役所西棟7階)で貸し出ししています。

杉並ゆかりの文化人  
アーカイブ映像集

お問い合わせ

杉並区 文化・交流課  
03-3312-2111(代表)

# 「杉並ゆかりの文化人」

アーカイブ映像集 全15作品

これまでに、多彩なジャンルの文化人・芸術家にご出演いただきました。  
人生の足跡、作品への思い、未来へ伝えたいメッセージ、縁ある街並みを、映像でご紹介します。

## 文学・ことば

詩人・小説家

ねじめ 正一さん



自らの少年時代を描いた「高円寺純情商店街」で直木賞受賞。阿佐谷で芸芸店を営みながら創作や朗読を行う。

日本語学者

金田一 秀穂さん



祖父・父と三代にわたり言語と向き合う。本の執筆・メディア出演を通じて、日本語の魅力を伝え続ける。

小説家

角田 光代さん



「八日目の蟬」など、日常に潜む人間の複雑な感情を描き出した作品は数々の文学賞を受賞。多くが映像化されている。

アニメ監督

大地 丙太郎さん



杉並で過ごした少年時代に漫画に目覚め、「おじゃる丸」をはじめ、ギャグアニメで数々の名作を生み出す。

## アニメ

## 舞台

スペイン舞踊家

小松原 庸子さん



踊り手として演出家として高円寺の舞踊団から生み出す作品は、フラメンコの歴史を常にリードしている。

女優

渡辺 美佐子さん



座・高円寺での舞台主演や朗読劇「夏の雲は忘れない」をはじめ、芝居・映画・テレビで精力的に活躍。

## 伝統芸能

能役者

野村 四郎さん



観世流シテ方。伝統を継承しながら、創作能などの意欲的な活躍が認められ、人間国宝に認定される。

奇術師

藤山 新太郎さん



日本の伝統的な奇術「手妻」の第一人者。江戸手妻の優雅さや遊び心あふれる技を、現代に蘇らせる。

落語家

古今亭 志ん輔さん



「高円寺芸まつり」に欠かせない存在。巧みな表現力と軽やかな語り口で、多くのファンの心をつかむ。

クラシックギター奏者

荘村 清志さん



独特の情感に満ちた音色で、およそ半世紀日本のクラシックギター界をリード。多くの人の心を捉える。

ジャズピアニスト

山下 洋輔さん



エネルギッシュな演奏は国内外で高く評価される。青春時代を過ごした阿佐谷でジャズストリートに華を添える。

## 音楽

## 書道

書家

藤沢 昌子さん



日本独自の「かな書」（かな文字と漢字を織りまぜた書）を代表する書家。日本の文字の美しさを伝え続ける。

## 美術・工芸

洋画家

佐野 ぬいさん



久我山のアトリエで描かれる青を基調とした抽象画。美しく時に不可解な青の魅力を50年あまり追い求めている。

木彫家

橋本 堅太郎さん



日本の伝統的な木彫による女性像など、清らかで生命感に満ちた作品を制作。区内作品：セシオン杉並「躍」など。

染織家

佐々木 苑子さん



糸糸を草木で染め、自然の鳥や草花を題材に絵紉の手法で織りあげる独自の繊織で、人間国宝に認定される。

## 視聴方法

① YouTube(15分版)

杉並区公式ホームページから視聴可能



杉並ゆかりの文化人

検索



② DVD(15分版・ロングインタビュー・杉並マップ)

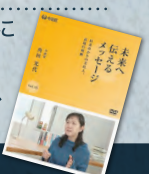
区立図書館、文化・交流課(区役所西棟7階)で貸し出ししています。

## 上映してみませんか?



例：講演会・学校の授業

映像を見た後、出演者によるお話も。「本物」との出会いから、世界が広がります。



上映・講演会など活用のご相談は、杉並区文化・交流課 ☎ 03-3312-2111(代表)へ。

# 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの取組と経過について

平成29年8月、文化・芸術振興審議会の意見を踏まえて策定し、昨年12月に改定した「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの取組」の概要とその後の取組経過を以下のとおり報告する。

## <文化プログラムの取組概要>

大会組織委員会は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、「東京2020大会」という。)に向け、指針となる「アクション&レガシープラン」を策定した。これを受けて区では、東京2020大会の文化面でのレガシー(遺産)を「未来へ繋がる感動や体験」と定義し、一過性の大きなイベントを行うのではなく、既存事業等への支援を強化・発展させていくことで、区民参加(アクション)を促していく。そして、子どもをはじめ杉並区に住む全ての人が「杉並区に住んでいて良かった」と感じることができる感動・体験の場の創出を目指してしていくこととした。

### 目標①

杉並が持つ文化・芸術・人材等の既存資源を活用し、新しい価値観・感動を生み出すことで、「SUGINAMI」を国内外へ発信していく。

### 目標②

区内の文化・芸術に関する環境を整え、次世代を担う子どもたちに感動と体験の場を提供していく。

### 目標③

文化プログラムへの支援を通じて、より多くの区民がオリンピック・パラリンピックに参加する機会を創出していく。

### 取組①

#### 文化・芸術活動 助成金事業の活用

区内で行われる文化・芸術活動事業に係る経費の一部を助成することで、区民の文化・芸術活動への参加や鑑賞機会の拡充を進めている。

### 取組②

#### 区民との協働による文化発信に向けた取組

NPO法人等の地域活動団体と連携・協力し、様々な文化プログラムを開催していく。

### 取組③

#### 文化に関する ボランティアの創出

すぎなみ地域大学にて、アートに関する知識・経験を積み、区の文化芸術活動を下支えする役割を担うアートサポーターを創出する。

### 取組④

#### 交流自治体「南相馬市」との連携

東京2020大会は「復興」を1つのテーマに掲げており、交流自治体の南相馬市と連携し、アートによる交流を「復興」に繋げていく。

### 取組⑤

#### 杉並の魅力を国内外へ発信する取組

杉並の魅力を外国人や若年層向けの発信するため、多言語表記やSNS等を積極的に活用する。

### 取組⑥

#### 教育部局等との連携

学校・集会施設等を舞台とした地域が支えるスポーツ活動や文化・芸術活動の更なる推進に向け、教育部局等と連携し取り組んでいく。

## <文化プログラムの取組経過>

### 取組①

#### 文化・芸術活動助成金事業の活用

企画提案事業に新たなテーマ「レガシーの創出に向けた新たな文化芸術の創造～杉並から国内外へ文化を発信～」を追加設定し、2件の対象事業を決定した。

##### 《主な事業》

第3回阿佐谷薪能(あさがや能・狂言の会)

阿佐ヶ谷神明宮 能楽殿

【1部】小学生能講座発表会

【2部】狂言「蝸牛」、能「高砂」



### 取組②

#### 区民との協働による文化発信に向けた取組

【後援・共催により実施した事業数と参加者数】

平成29年度	平成30年度
74件 273,952人	78件 270,355人

##### 【共催事業の例】

昨年7・8月、東京2020大会の2年前公認プログラムとして「和文化」をテーマに阿佐谷のまちを彩るアート展「BATA ART EXHIBITION(バタアート エクシビション)」を開催



### 取組③

#### 文化に関するボランティアの創出

5月～6月に「すぎなみ地域大学」にて全5回の講座を19名が受講。受講後は、アートサポーターとして、文化芸術活動助成金事業のモニタリングを実施し、鑑賞結果をレポートする等、区民目線で助成事業を評価する。



### 取組④

#### 交流自治体「南相馬市」との連携

- 相馬野馬追応援企画である武者絵展や日本フィル被災地支援活動の写真展を実施し、南相馬市の復興を応援
- 「南相馬市子ども文化芸術交流事業」において、女子美術大学の生徒がワークショップを実施



### 取組⑤

#### 杉並の魅力国内外へ発信する取組

- 国際交流・異文化理解を進める「東京高円寺阿波おどり台湾公演」の推進
- 杉並にゆかりのある文化人・芸術家の活動軌跡を後世に伝える「アーカイブ映像」を制作し、YouTube等で発信



### 取組⑥

#### 教育部局等との連携

- 区に転入した外国人児童が日本語を学び、その成果を発表する「国際交流の集い」を昭和63年から継続実施
- 国内外の児童・生徒が国境を超えて、音楽を作るワークショップの実施





# イタリアビーチバレーボール事前キャンプに向けての主な取組(案)



区では、東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」という。)の開催に向けて、事前キャンプ誘致を行い、令和元年5月、イタリアオリンピック委員会(以下「CONI」という。)と「ビーチバレーボールチームの事前キャンプ」について協定を締結した。  
事前キャンプに向けた取組のうち、文化面について、文化・芸術振興審議会の意見を踏まえて進めていく。そのうえで、区で定めた文化的レガシーである「未来へ繋がる感動や体験」の実現を目指していく。



### <事前キャンプ情報>

- 時期：令和2年(2020年)7月14～22日(9日間)
- 場所：永福体育館ビーチコート(永福1-7-6)  
京王井の頭線永福町駅から徒歩10分



### <杉並区とイタリアの関連情報>

- 区内人口：139名(5月末現在)
- 座・高円寺演劇鑑賞教室の演出：テレサ・ルドヴィコ(イタリア人)
- 日本フィル楽団員(トランペット奏者)：オッタビアーノ(イタリア人)
- 区内在住イラストレーター：ルカ・ティエリ(イタリア人)
- 学習対象国イタリアである学校：富士見ヶ丘小・中、高井戸小
- ビーチコート近隣小学校：永福小


### 取組②

#### 区民との協働による文化発信に向けた取組

↓

(案1)  
永福体育館ビーチコートや永福町駅等に区民発案のアートな横断幕を設置

(案2)  
NPO法人と協働で「すぎなみフェスタ」での伝統工芸体験(11月)



### 取組⑤

#### 杉並の魅力を国内外へ発信する取組

↓

(案1)  
広報すぎなみ・区HP・SNS・情報紙による広報  
●イタリアビーチバレーボールが杉並区で事前キャンプを実施すること  
●永福にビーチバレーボールコートがあること

(案2)  
芸術の国「イタリア」の美術や音楽、演劇などに区民が触れ学ぶ機会を創る  
●ビーチバレー体験+パネル展+試食会(6月)  
●海外文化セミナー「イタリア」(12月)  
●イタリア文化展+トークショー(1月)

### 取組⑥

#### 教育部局等との連携

↓

(案1)  
選手来日時に、日本フィルと吹奏楽部による演奏や美術部によるビーチコートにサンドアートでお出迎え

(案2)  
公開練習時での選手と小学生児童との触れ合い

